

Q 座談会

経営者 × 若者

2023年9月26日 やまがたクリエイティブシティセンターQ1にて、山形県内の経営者、山形県内外の若手社員、学生合計15名の方にご協力いただき座談会を開催しました。座談会の様子をまとめた映像を右記のQRコードリンクからご確認いただけます。冊子に掲載しきれなかったリアルな若者の声をぜひご覧ください。



参加者（五十音順） 座談会開催にあたり15名の方にご協力いただきました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

経営者



株式会社ナウエル
代表取締役
酒井 登さん
推しがUターンのかきっかけになる…きっかけは人それぞれだと発見がありました。



渋谷建設株式会社
代表取締役
澁谷 豪さん
若者がどのような意見なのか、期待と不安がありました。期待以上でした。



アイ・エム・マムロ株式会社
代表取締役
高橋 智之さん
自信を持って若者を地方に呼び寄せる何かがあるのか、反省しました。



株式会社ジョイン
代表取締役
武田 良和さん
自己実現をしたという話が印象的でした。大変貴重な時間でした。



株式会社タマツ
代表取締役
玉津 弘之さん
社員が10年後の姿を安心して思い描ける会社を作らなければと思いました。

社会人



株式会社クリエイト礼文
相澤 怜央さん
出身：山形市
勤務地：県内



美喜株式会社
佐藤 翔也さん
出身：南陽市
勤務地：大阪府



オーリンク株式会社
渋谷 渉さん
出身：山形市
勤務地：県内



NDソフトウェア株式会社
神保 拓哉さん
出身：天童市
勤務地：県内



株式会社後藤精機
鈴木 純さん
出身：宮城県仙台市
勤務地：県内



フォーティネット
ジャパン合同会社
田中 朱李さん
出身：山形市
勤務地：東京都



株式会社
オフィスコンフォートM
六沢 乃愛さん
出身：村山市
勤務地：県内

学生



武蔵野大学
阿部 拳太さん
出身：新庄市



東北芸術工科大学
小林 彩春さん
出身：寒河江市



山形大学大学院
高久 巧成さん
出身：北海道札幌市

若者が 就職したい 企業とは

- 経営者と若者との座談会より -

令和4年 山形県 県外転入・転出者数

	18~24歳	全年齢
転入	+4,260人	+14,484人
転出	-6,957人	-17,705人
増減	-2,697人	-3,221人

令和4年山形県の人口と世帯数・山形県社会的移動人口調査結果報告書（山形県）(https://www.pref.yamagata.jp/020052/kensei/shoukai/toukeijouhou/jinkou/jinko_nenpo.html)より

自分の価値観にマッチした会社、人と一緒に働きたい。でも出会いがない。

求人票に載る「データ」ではなく、企業理念、ミッション、ビジョン、企業の歴史にストーリーなどを重視するという意見が多数。せっかく働くなら同じ方向を向ける会社や人と。それを判断するために、若者はさまざまな情報を求めているようです。

渋谷さん 一度県外に就職しましたが、山形で働きたいとUターン。営業職として地域を回っていると、山形の人に直接貢献している実感があり、戻ってきてよかったなと思います。モンテディオ山形を応援したかった…というUターンのきっかけのひとつです。

鈴木さん 現職の決め手は面接で「やってみたらいいんじゃない」という社長一言でした。何回も面接するのは難しいだろと思っていましたが、社長から「色々知りたいだろうから」と言って時間をとってもらい、その場で会社のことについて詳しく質問したりすることができました。働いている方の人情というか、親近感が持てると魅力的に感じます。

神保さん 大学研究室でAIを専攻しプログラミングをしていました。就活時にはAIに携われて自分も企業も成長できることを重視。現職は安定したソフト提供の部分とAIで発展する必要があるベンチャー企業のような部分のバランスが自分に合っていると思います。

小林さん 企業理念に自分が共感できないと負のサイクルになってしまう気がして、企業理念を重視して就活しています。色々な就活サイトや媒体を使って情報収集していますが、山形の就職イベントはいつも参加企業が同じで出会いがなく、積極的に情報発信している県外企業ばかりが選択肢に…。対面で企業の方と話せる機会がたくさんあれば、どういう人柄の、どういうストーリーを持った方が働いているのかわかっていいと思います。

解決のヒント—企業にできることは？

- 01 SNSを活用した情報発信
- 02 企業からスカウトできる就活サイトの活用
- 03 企業サイトやテックブログの充実
文章のみでなく写真や動画を使用
- 04 働いてからの姿が想像できるコンテンツ配信
社員の日スケジュール、密着動画、5年後の先輩インタビューなど
- 05 起業ストーリーや企業理念、社長の思いなど、会社のこれまでとこれからについてを発信

終身雇用にも昇給にも疑問符。将来も食べていけるスキルを身につけたい。

給与アップに必要なのは、スキルアップと転職。キャリア思考の若者は、キャリアプランを自前で用意。プランの実現に必要な市場価値の高いスキルを身につけたいと考えています。

高久さん 5年後10年後食べて行けるのが気になります。プロジェクト型の働き方で、スキルで声がかかる人間になりたいです。ずっと同じ企業に所属することはあまり考えておらず、給与を上げるためにより市場価値の高い企業への転職を意識しています。自分の技術を伸ばし、スキルを培い、成長できる企業に所属したいです。

佐藤さん 成績で自分を評価されることを重視して、今は個人事業主として営業の仕事です。今の会社の社長が山形出身で、その縁で働いています。色々な場所を転々とするのに抵抗はないですが、もっと稼いだら山形に帰ってきて地元を活性化させたいという気持ちがあります。

相澤さん 業務で若手の意識調査をしたところ、給与や福利厚生の次に重要視しているのが成長性。待遇で首都圏に対抗するのは厳しいですが、会社の意識を若者の価値観にアップデートすることはできます。どのような知識やスキルが得られるのか、教育体制を構築してアピールすることが重要だと思います。企業側が若者の仕事観に寄り添う必要性を感じています。自分自身の就活の際も、自分がどう成長できて、自分の成長がどのように会社の成長に貢献できるのかを重視していました。

解決のヒント—企業にできることは？

- 01 教育体制の構築
- 02 入社後得られる知識、スキル、資格、資格取得のための制度などを発信
- 03 資格取得した社員の実例紹介
具体的事例、資格取得社員数など

「制度あります」だけでは足りない。休めるの？ 復帰できるの？ その情報は本当？

求人票の情報だけでは本当のことはわからない…復帰後の働き方まで見据え、働き方のリアルな情報を知りたいようです。子育ては当然働きながら、若者のスタンダード。

六沢さん 就活の際には企業の福利厚生を重視していました。女性の産休・育休、復帰のしやすさや、復帰後を見据えてに時間の融通がきくかどうか、残業がないかどうかを確認しました。今の会社は毎年産休・育休を取る人がいて、安心してます。でもそういう情報って書いてあったとしても本当かどうか入ってみないとわからないですよね…。

解決のヒント—企業にできることは？

- 01 何人が何ヶ月産休や育休を取得しているのか 実際のデータを発信
- 02 復帰後のタイムスケジュールや 具体的なエピソード、事例を紹介

「全員一律」よりもっといい方法を。「個人」に合わせた選択の自由と尊重。

「同じ目標に向かって走りながら、個人に合わせた働き方も重要」全体と個人を緩やかにつなげる思想が根底にあるようです。

阿部さん 会社の色に染まることに抵抗を感じます。上下関係がはっきりしているような個を重視していない会社は、どうしても魅力的に映りません。最近だと上下関係がなく、社員同士をメンバーと言ったり、会社をチームと言ったりする会社もあり、「人」と「人」を見てくれている感じがして魅力的です。具体的には、部下への言葉遣いなどで。上司が一方的に話している楽しさではなく、双方向のコミュニケーションの楽しさのような。個人的には、上司と部下であっても友達のような関係に見えるのが理想です。

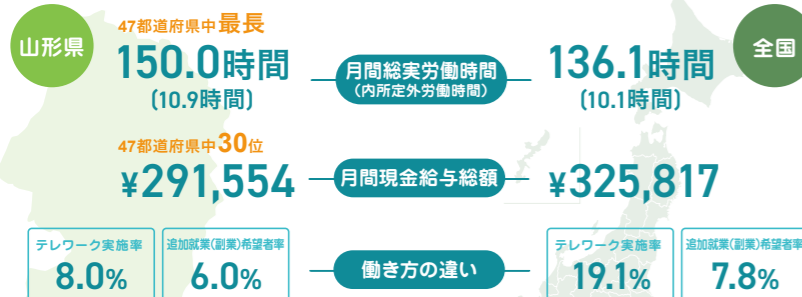
田中さん 東京は働き方の自由度があり、地方支店があったりなど、幅広い候補から選べました。特にIT業界は働き方が自由な会社が多く、私自身も会社の働き方の自由度や柔軟な働き方ができる会社を重視して就活や転職をしました。リモートワークで横槍なく集中して仕事ができ、優先順位も自分でつけられ、働き方があっているなど感じています。

解決のヒント—企業にできることは？

- 01 リモートワークなど自由な働き方の導入
- 02 会社のトップと学生が話せる機会を設ける
- 03 会社の雰囲気伝える
働いている動画、具体的エピソード、インターンシップ受入れ

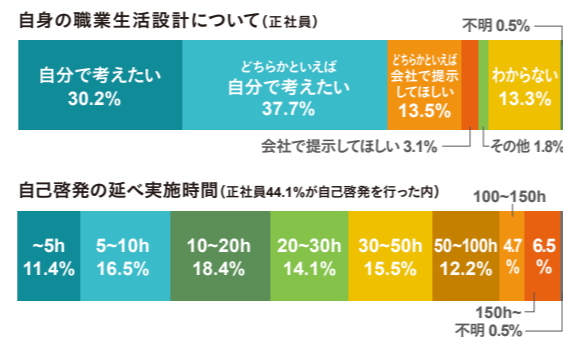
データで見る 労働環境 / 採用情報

全国と山形の労働環境比較※1



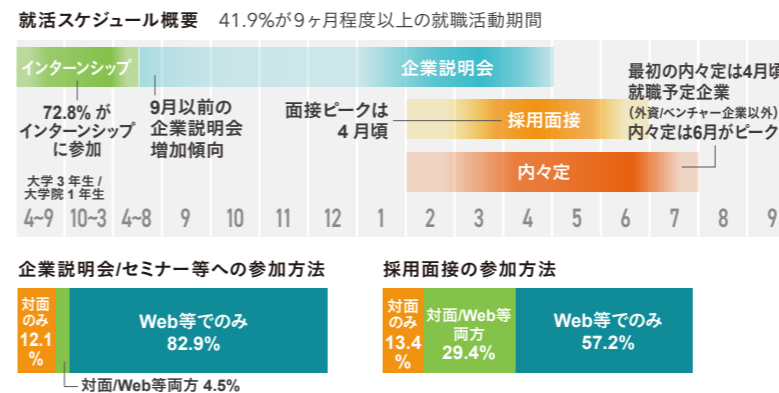
※1令和4年山形県の賃金、労働時間及び雇用の動き-毎月勤労統計調査地方調査結果報告書(山形県) (https://www.pref.yamagata.jp/020052/kensei/shoukai/toukeijouhou/kinnoutoukei/malkinh23.html)、毎月勤労統計調査(全国調査・地方調査)(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/30-1a.html) 調査産業計・事業規模5名以上、令和4年就業構造基本調査(総務省統計局) (https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2022/index2.html)をもとに作成。

労働者の能力開発について※2



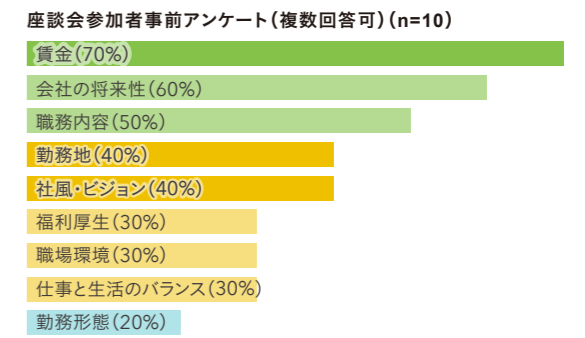
※2令和4年度能力開発基本調査(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/104-1.html)をもとに作成。

新卒者就活情報※3



※3令和4年度学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査(内閣府) (https://www5.cao.go.jp/keizai1/gakuseichosa/index.html)をもとに作成。

Q.就職活動時に重視したこと



就職活動前の学生は就職活動時重視したいことを回答